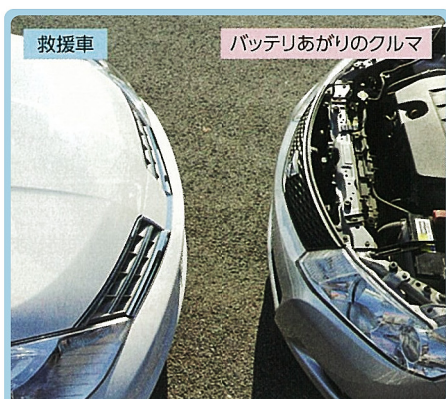


トラブル対策編

バッテリーがあがってしまった時のブースタ接続



1

ブースタ・ケーブルを接続できる位置に救援車を止めて、エンジンを停止しておきます。



2

ブースタ・ケーブルを次の順に接続します。赤いケーブルを、バッテリーあがりのクルマのバッテリープラス端子に接続します。

※接続の際、⊕と⊖を間違えないようにしてください。
※ブースタ・ケーブルは太くてしっかりしたものを使いましょう。



3

赤いケーブルのもう一端を、救援車のバッテリープラス端子に接続します。



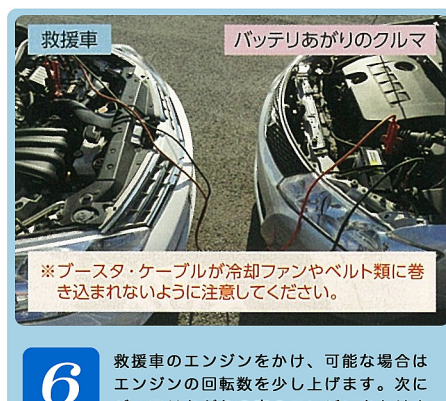
4

黒いケーブルを、救援車のバッテリーマイナス端子に接続します。



5

最後に反対側の黒いケーブルをバッテリーあがりの車のエンジン本体のフックもしくは、バッテリーマイナス端子に接続します



6

救援車のエンジンをかけ、可能な場合はエンジンの回転数を少し上げます。次にバッテリーあがりの車のエンジンをかけます。エンジンがかかったり、ブースタ・ケーブルを接続したときと逆の順序で取り外します。

※ブースタ・ケーブルが冷却ファンやベルト類に巻き込まれないように注意してください。

バッテリーあがりの原因

バッテリーあがりとは、バッテリーの電圧が低くなってエンジン始動できないことを指します。その原因としては、バッテリー自体の故障のほか、さまざまなケースが考えられます。



- バッテリーの寿命
- 電装品の過剰使用
- 発電機のトラブル等
- ライトの消し忘れ
- 長期間放置

ポイント

理由の分からないバッテリーあがりの場合、バッテリーを交換する前に整備工場での点検を受け原因をつきとめましょう。